

📖 わたしの書評



名前 (匿名、ペンネームでも可)	グレコ
書籍名	「ホーム・ラン」
著者	ステューヴン・ミルハウザー(著) / 柴田元幸(訳)
出版社	白水社
書評	<p>ミルハウザーの魅力はいわば説明不能だが、例えば歪んだ窓ガラスを通して眺める、美しく清潔で孤独で慎ましく、少しいかがわしくてノスタルジックな情景に眩惑されるうちに、ふと気がつくとき周りの空気の濃度がじわじわ上がってゼリー状になり、喉をしめつけ呼吸ができなくなってしまっているという、実に手ごわい作家だ。</p> <p>この短篇集にもミルハウザーの魔法がくまなくかけられていて、奇跡の鏡磨き剤の話、自殺願望流行の話、ある一本の大ホームランの話(まさか自分が野球の実況中継で美しさに泣くとは)、収録短編どれをとっても素晴らしいが、中でも「息子たちと母たち」の悲しい孤独と濃密なノスタルジー、奇妙な浮遊感、シュールな結末…ああやられた。</p>

